

釣りフェスティバル

Fishing Fest. 2021

ONLINE



JAFTMA 一般社団法人
JAPAN FISHING TACKLE MANUFACTURERS ASSOCIATION 日本釣用品工業会

<http://www.jaftma.or.jp/>

《コピー厳禁》

開催ポスター

視聴無料

<https://www.tsurifest.com>

釣りフェスティバル

Fishing Fest. 2021

ONLINE

業界初のオンライン開催！
世界に先駆けて
新製品がベールをぬぐ！



本番会期 | 2021年1月22日(金) 18:00▶21:30 23日(土) 12:00▶20:00 24日(日) 12:00▶18:00

公開期間 | 本番会期+1カ月(予定)

主催: JAFTMA 一般社団法人 日本釣用品工業会

お問い合わせ: 釣りフェスティバル運営事務局(株式会社フジヤ内) 〒135-0061 東京都江東区豊洲5-6-36 豊洲プライムスクエア3F TEL: 03-3532-5611 E-mail: info@tsurifest.com



開催概要／開催理念



- 名 称 釣りフェスティバル2021 (Fishing Fest. 2021)
- 会 期 2021年1月22日 (金) 18:00～21:30
23日 (土) 12:00～20:00
24日 (日) 12:00～18:00～19日 (日)
- 公開期間 本番会期+1か月 (予定)
- 会 場 オンライン特設会場 パシフィコ横浜 アネックスホール
〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-1 (TEL: 045-221-2155)
- 出展規模 100社・団体
- 主 催 一般社団法人日本釣用品工業会
- 視聴方法 視聴無料、登録不要
- 公式サイトURL <https://www.tsurifest.com/>
- 運営事務局 釣りフェスティバル運営事務局
〒135-0061 東京都江東区豊洲5-6-36 豊洲プライムスクエア 3階
TEL: 03-3532-5611 / FAX: 03-5548-2839
E-mail: info@tsurifest.com

“釣り文化”を創造し、 健やかな未来を育む。

釣りには、自然や生命とのふれあい、道具へのこだわり、家族や釣りファンとの交流など、多様な魅力が詰まっています。このジャパンフィッシングショーは、日本の多様な自然と世界最先端の技術が生む“釣り文化”を、国内外に発信する国内最大級のショー。“釣り文化”の創造を図り、人々の健康な心と体を育むとともに、健やかで美しい社会づくりと釣り界の発展につながる取り組みを続けていきます。

メーカーを始め、釣り業界の関係者が互いに協力し、刺激し合いながら、釣り具の“今”を伝え、釣りにまつわる人・モノ・コトが集まる場をつくる。そこは、お客さまにとっては、釣りの生きた魅力を肌で感じる絶好の機会であり、出展社様にとっては業界最大級のビジネスチャンスでもあります。

釣り界の将来を見据えた、国民的レジャースポーツにするために、私たちが創造するのは、“釣り”を通して豊かな社会に貢献する未来です。

一般社団法人 日本釣用品工業会
会長 島野容三

来訪者数／PV数



業界初のオンライン開催「釣フェスティバル2021」では、出展社皆様のご協力により、新製品を中心とした各社一押しの「製品情報」をいち早く、一同に発表することができ視聴者の満足を得ることができた

	1/22～1/24 会期中	1/22～2/25 ～アーカイブ 配信終了
ユーザー数	196,963	266,367
PV数	4,226,371	5,090,611
セッション数	415,274	561,732
ページ/ セッション	10.18	9.06
直帰率	8.38%	8.66%

◆ユーザー数／サイトに訪問した数
2020年来場者数44,293名に比べ、
その6倍もの方が来訪。

◆PV数／ 閲覧されたページの合計数
◆セッション数／延べ訪問数
1セッション（訪問）あたりユーザーは、
9～10ページ以上閲覧している

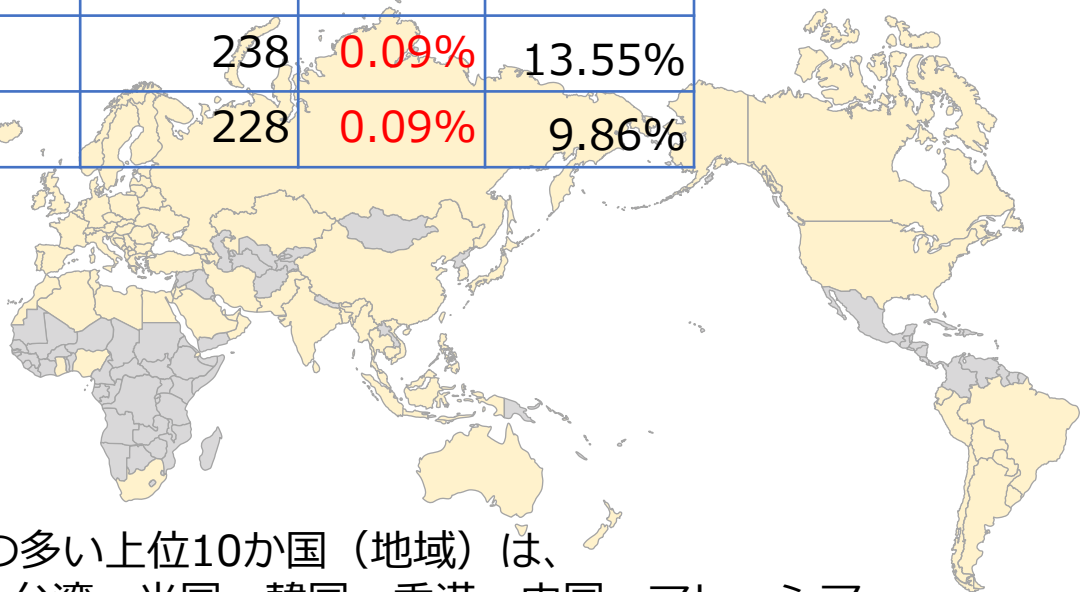
◆直帰率／1ページしか閲覧しない割合
一般的に直帰率の目安は40%前後と
いわれており、8.66%はかなり低い。

来訪者（国別）



全世界100ヶ国からの視聴があり、世界最先端技術が生む「日本の釣り文化」を世界に発信する事ができ、海外に向けた情報発信に一步踏み出す事ができた

	国	ユーザ数	構成比	直帰率
1	Japan	258,077	96.59%	8.55%
2	Taiwan	1,974	0.74%	4.57%
3	United States	1,444	0.54%	40.03%
4	South Korea	812	0.30%	5.69%
5	Hong Kong	635	0.24%	7.36%
6	China	603	0.23%	21.13%
7	Ukraine	333	0.12%	6.44%
8	Russia	319	0.12%	6.63%
9	Singapore	242	0.09%	10.85%
10	Australia	238	0.09%	13.55%
11	Malaysia	228	0.09%	9.86%



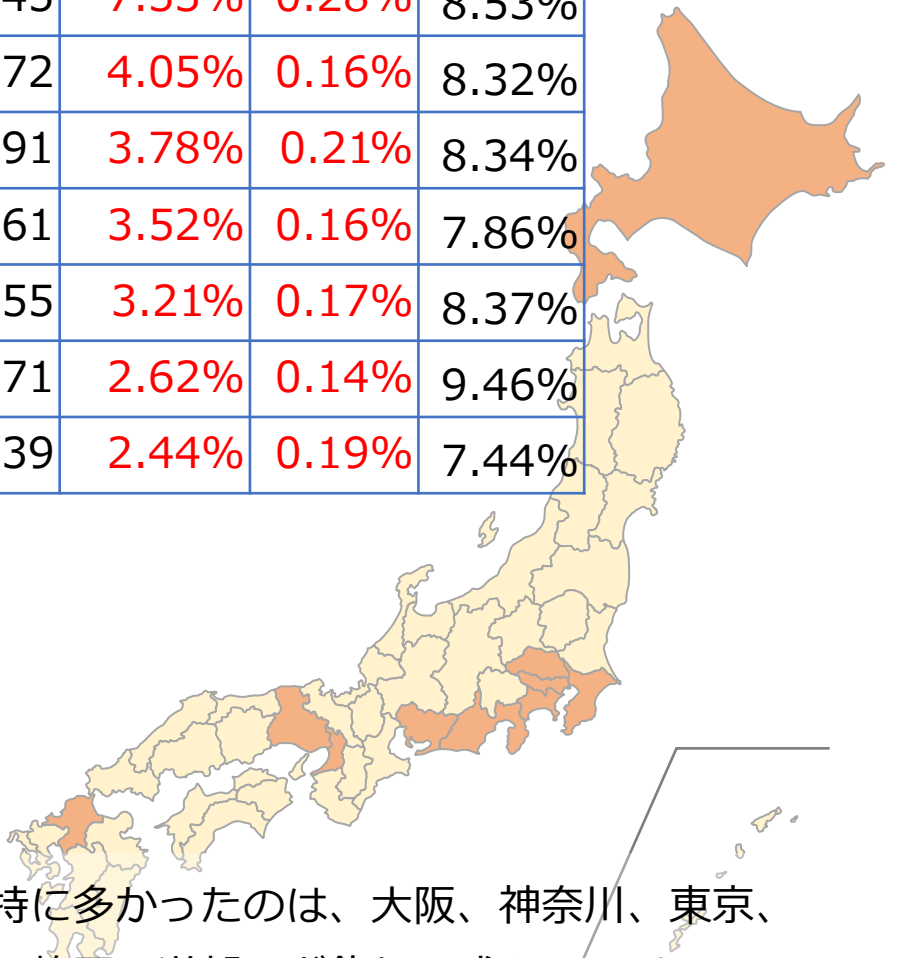
- ・ ユーザー数の多い上位10か国（地域）は、
アジア→ 台湾、米国、韓国、香港、中国、マレーシア
欧州→ ウクライナ、ロシア
大洋州→ オーストラリア

来訪者（都道府県別）



全国47都道府県から視聴があり人口1,000人当たり2.3人の視聴があった。開催コンセプトに沿った「より広く、より深く」釣りの世界観や釣りの楽しさを発信する事ができた

	地域	ユーザ数	構成比	人口比	直帰率
1	Osaka	46,034	15.96%	0.52%	9.44%
2	Tokyo	45,987	15.94%	0.34%	8.97%
3	Kanagawa	41,395	14.35%	0.45%	8.72%
4	Aichi	21,145	7.33%	0.28%	8.53%
5	Saitama	11,672	4.05%	0.16%	8.32%
6	Fukuoka	10,891	3.78%	0.21%	8.34%
7	Chiba	10,161	3.52%	0.16%	7.86%
8	Hyogo	9,255	3.21%	0.17%	8.37%
9	Hokkaido	7,571	2.62%	0.14%	9.46%
10	Shizuoka	7,039	2.44%	0.19%	7.44%



・人口当たり視聴率が特に多かったのは、大阪、神奈川、東京、愛知その他三重、福岡、静岡、滋賀など釣りの盛んなエリアの視聴が多かった。

来訪者を集めた製品情報コンテンツ



出展社ブース、メインステージ、ピックアップ製品など製品に係るコンテンツへの関心が高く、リアル開催と同じ傾向となった



出展社ブース



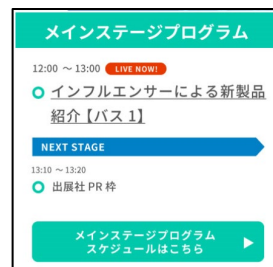
人気ページ第1位は出展社ブースとなっており、多くの視聴者が訪れる結果となりました。

ピックアップ製品



人気ページの第2位。
参加目的の1位が新製品の情報収集であることを裏付けている。

インフルエンサーによる新製品紹介



- ・ 参加出展社：75社
- ・ 出品製品数：91点
- ・ のべ25,868人が視聴

ジャンルごとの新製品情報をインフルエンサーが紹介するプログラムは、視聴者にとって有益なコンテンツであった。視聴者アンケートのお気に入りのページでは第3位。

見どころ紹介

「釣りフェスティバル」の公式Webサイト上で展開される様々なプログラムの概要や見どころなどを、スライド映像や動画などを交えながら紹介



ハッピーマックスみしま（お笑い芸人）

本名 三島裕一

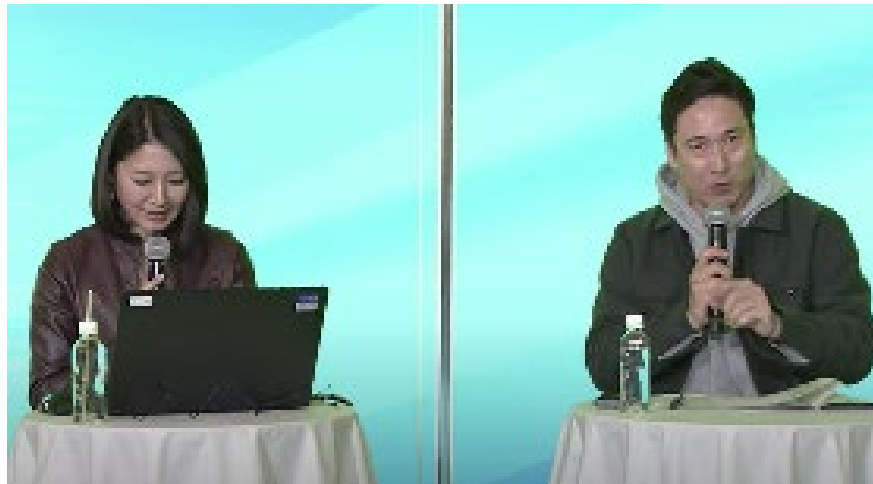
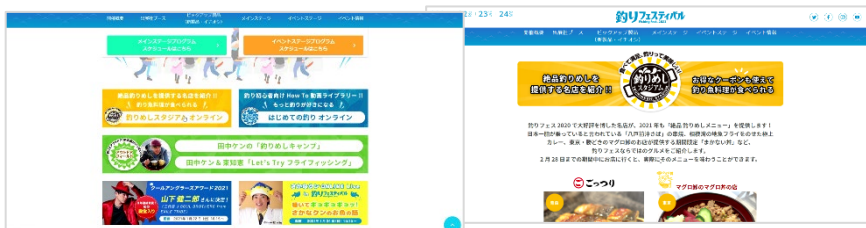
1983年愛知県名古屋市生まれ

趣味 釣り、サイクリング

特技 釣り、野球

釣り業界注目イベント『サカナクラブ』代表

ハypesピーディーパフォーマンスという新しい漫談スタイルを確立。企業慰労会や宴会、運動会の司会、アイドルイベントMCなど司会業だけでなく一発芸、漫談もできるマルチプレーヤー

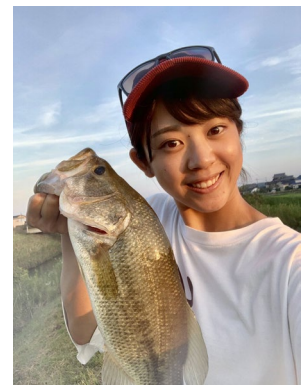


一木花蓮（いちき・かれん）

第11代アングラズアイドル

1992年10月24日生まれ。

熊本県出身。



末川かおり（すえかわ・かおり）

1973年生まれ。鹿児島県出身。

主な出演作に、sky perfec TV『釣りビジョン「つりEXPRESS」』、『釣りビジョン「つりステーション」』楽しさを広めている。

bayfm『KIRIN BAYSIDE KITCHEN』雑誌『つり情報』などがある。

趣味は料理、釣り。

井手大介（いで・だいすけ）

1975年生まれ。東京都出身。

DJ、MC、モデル、ミュージシャン。

音楽とアウトドアをこよなく愛し、

音楽とアウトドアをこよなく愛し、

2012年から2013年の2年間で200種類の魚を釣る「200目チャレンジ」に成功。

メインステージ



「釣りフェスティバル2021 オンライン」のメインコンテンツの1つ、インフルエンサーが出展各社のイチオシ新製品を、出展社ご自身からいただいたコメントを基に紹介



大手メーカーから専門メーカーまで新製品を一堂に集め、ご紹介いたしました。



出展社オリジナルプログラム



メインステージの「出展社PR枠」にて自社オリジナルプログラムを配信



放映は、釣りフェスティバル2021公式サイト内「メインステージ」の「Vimeo」にて配信
1枠15分のoption

イベントステージ（一例）



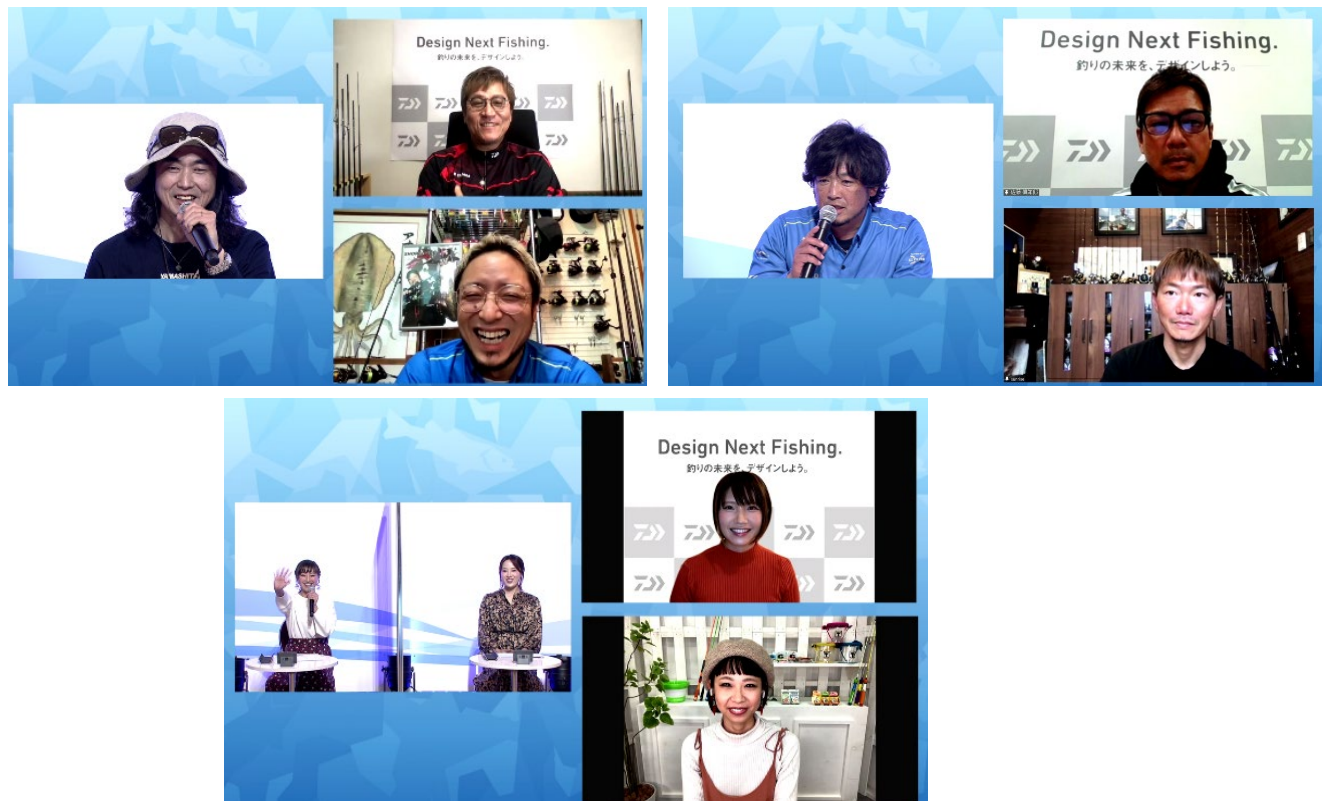
「トップアングラー
トーク&ライブ／キャスティングライブ」

「釣りフェスティバル」ならではの釣種別に人気プロアングラーをお迎えし、「トークショー」「キャスティングライブ」を行っていただきオリジナルコンテンツを配信

インターネット回線を利用したライブ中継配信



別会場とステージを中継でつなぎ映像配信



イベントステージ（一例）



人気プロアングラーによる「キャスティングライブ」を配信



バーチャル釣行を配信



アウトドアフィールド



×



田中ケンの「釣りめしキャンプ」



アウトドアのスペシャリストで快適生活研究家として活躍している田中ケン氏は、アウトドア料理のレシピ集も執筆しています。屋外で楽しめる「釣りめし」を彼独自の視点で、簡単で美味しいキャンプ飯を公開。

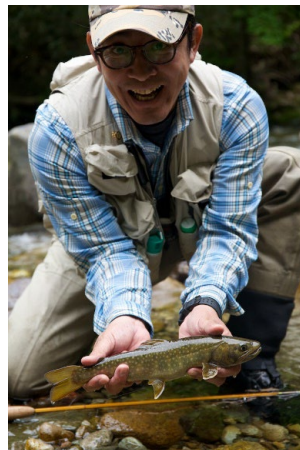


×



田中ケン「Let's Try フライフィッシング」

田中ケン氏がアウトドアアクティビティの一つとして始められた「フライフィッシング」の話題を中心に、フライフィッシングの魅力や、アウトドアと釣りとの親和性、アウトドアの楽しみ方などを東知憲氏と伝授。



東 知憲 (ひがし・ともり)

翻訳者、通訳者、編集者、文筆家、
キャスティング・インストラクター
フェンウィック社にゆかりの深いジミー・グリーン、
メル・クリーガーらの薫陶を受け、アジア大洋州で
数少ないFFF公認マスター・インストラクターとして
活躍中。日本の山岳溪流から世界のブルーウォーターにまで
フライフィッシングを押し広げていくエネルギーのある釣り人。



クール・アングラーズ・アワード



クールアングラーズアワードは一昨年から3年連続で山下健二郎さんが受賞、全国放送の番組や各メディアでの露出を獲得。初の殿堂入りという話題性があり、様々なメディアでのパブリシティ獲得につながった。山下さんご本人の釣りにかける熱意が好意的に受け入れられた



殿堂入り記念として、山下健二郎氏と交友のある、関和学氏（プロアングラ）とスペシャルトークショーをライブ配信。



関和 学（プロアングラ）
1971年8月1日東京都生まれ。10代の頃からバスフィッシングのプロトーナメントに出場し、以後トップカテゴリーでの活躍が続いている。近年はバスの岸釣り（オカッパリ）に力を入れ、一般のアングラと同じ目線に立った実践的なスタイルに定評がある。

第12代目アングラースアイドル



12代目アングラースアイドルは、池山智瑛（いけやまちあき）さんに決定いたしました。選考過程では、池山さんのひとときわ明るい笑顔や言葉が、なかなか先の見えないコロナ禍において、より一層大事な魅力として映りました。自ら道を切り開き、力強く釣りの魅力を広く発信する存在として、活躍してくれるものと信じ、選出いたしました



◆今後の活動への抱負

釣りがたくさんしたいという思いで、海の近い街「三重県尾鷲市」に移住して、地域おこし協力隊としての活動の中で、その地域ならではの魚種だったり、魅力的な釣りスポット、釣り大会、釣り方などある事を知ったので、全国各地色々な地域へ行き、その地域ならではの釣りを楽しみながら地域おこし、活性化まで繋げていけるような活動をしたいです。私が釣りを楽しむ姿、成長していく姿を見て少しでも多くの方に釣りに興味を持つきっかけとなる存在になれるよう頑張ります！持ち前の元気と明るさで釣り業界盛り上げます！

【出身地】 愛知県

【趣味】 釣り、キックボクシング

【特技】 魚を捌くこと、セルフネイル、水泳

【資格】 看護師免許



歴代アングラーズアイドル大集合

この1年間、なにやってた？、アフターコロナ、なにしたい？をトークテーマに釣りの楽しさを発信



『はじめての釣り』 Online



出展各社様が公開されている様々なジャンル（釣種）の「釣りの始め方」講座（＝動画）の動画サイトURLをご提供いただき、専用コーナーにてアーカイブ配信



- ・メーカー協力として、各社所有の完パケをそのまま配信
- ・ご提供いただく動画の内容は、「初心者向け How To」とする
- ・出展全社から公募し、宣伝色を押さえるため「釣種」「収録内容」等を申請書にご記入いただき応募していただく
（＊応募本数は無制限）

釣りフェスティバル2022開催について

このたびの新型コロナウイルスに罹患された皆様と、感染拡大により生活に影響を受けている地域の皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の流行が拡大している状況を受け、参加者および関係者の健康と安全を最優先に考慮し、“釣りフェスティバル2022”はオンライン開催とさせていただきますこととなりました。

ご来場を楽しみにしていたお客様には、大変ご迷惑をおかけいたしますこと、深くお詫び申し上げます。

引き続き、スタッフ一同、“釣りフェスティバル”を盛り上げるべく尽力して参りますので、よろしくお願い申し上げます。

